岡田グループ

環境に配慮した工場リフレッシュ工事が完成

岡田金属株式会社（本社＝名古屋市緑区大高町上塩田58、岡田健司社長）、不二商事株式会社（本社＝名古屋市中川区清川町5－2－3、岡田健司社長）、カニエ金属株式会社（本社＝海部郡蟹江町西之森七丁目176、西村暢之社長）の3社で形成する岡田グループは、5年計画で進めてきた一連のリフレッシュ工事がこのほど完了。グループ企業として経営基盤の強化を着々と進める一方、一層の環境改善と品質管理を推進していく。

広大な敷地と充実した設備を活かす岡田金属

岡田健司社長

グループの核である岡田金属は昭和37年4月名古屋市中村区牛田通にて開設、いったん本社を中川区小塚町に置いたが平成元年11月に名古屋市緑区大高町の現本社工場に本社を移した。北には国道1号線、南には三重県から名古屋市南部を通り三河地方へとつながる大動脈国道23号線と名古屋高速が通る。車を10分も走らせれば大同特殊鋼・知多、愛知製鋼、新日本製鐵・名古屋といった製鋼メーカーが隣接し、船積みのメッカ名古屋港へも比較的近く交通の利便性は非常に高い。

1万2,561㎡の広さを誇る岡田金属　本社工場

工場敷地面積は1万2、561㎡。グループ1の広大な敷地のなかに工場建屋、本社事務所に加え1、600㌧シャー（富士車輌）1基、150馬力全自動プレス機1基、定置式スクラップローダー（南星機械）1基、リフマグ・グラップル付重機（日立建機他）5基、4・8㌧リフマグ付天井走行クレーン（カシハラ鉄構）1基、2・8㌧ホイストクレーン1基、80㌧トラックスケール1基などの加工処理設備を有する。

今年で就任9年目となる岡田健司社長は総合リサイクル企業としての自覚と責任から自身就任3年目の平成16年に本格的に工場の環境対策を含めた一連のリフレッシュ工事に着手。工場周囲の擁壁や、敷地内の土間の高強度コンクリート化に始まり、事務所の建て替えや定置式スクラップローダーのリプレース、環境マネジメントシステムISO14001認証取得にギロチンのオーバーホール、油水分離槽の増強に外壁の整備と進めてきたが今年4月カシハラ鉄構の高速天井クレーンを導入。新設クレーンの導入により荷捌き作業の能力と安全性が格段にアップし一連の工事はほぼ完了。人と地球に優しい環境対応型ヤードに仕上がった。

敷地面積の広さを活かし、一度に多くのスクラップが発生する解体物件の取り扱いが多い。また、スクラップを品種ごとに細かに分けて管理を徹底できるのも広い工場の利点である。

同社では特に重機の充実に力を入れている。重機を充実させることで加工処理作業の効率化と時間の短縮を図ることができる。とりわけアームが16mある「ZX300LC」は日立建機での特注機。日立建機の技術力があったからこそ完成した重機で工場内の荷物の積み下ろしや荷捌きに偉力を発揮している。

岡田金属㈱

沿革	
昭和37年4月	名古屋市中村区牛田通りにて資本金350万円で岡田金属株式会社を設立。
昭和46年11月	資本金2000万円に増資。
昭和50年4月	名古屋市緑区大高町字上塩田に大高工場を建設。
昭和52年5月	名古屋市中川区小塚町に本社工場を移転。
昭和62年9月	三重県鈴鹿市神戸に旧丸谷商店の本社工場を買収して鈴鹿工場を開設。
平成元年11月	名古屋市緑区大高町字上塩田に本社を移転。
平成5年7月	愛知県計量事業所認定。
平成12年11月	代表取締役に岡田健司氏が就任。
平成18年4月	ISO14001認証取得。
平成18年4月	定置式スクラップローダーのリプレース。
平成18年9月	1,600㌧ギロチンシャーのオーバーホール。
平成21年4月	4.8㌧リフマグ付天井走行クレーンリプレース。

合理的な都市型ヤードの不二商事

名古屋港へと流れる中川運河東沿いの工業地域にある不二商事は昭和48年7月に同社の第三工場として開設されたが、立地条件の良さを最大限に生かすため昭和49年4月に本社工場となった。名古屋市内でも比較的都市部に近い工場である。開設当初は、プレス工場にタイマー式全自動プレス機と50㌧トラックスケール、5㌧リフマグ付天井走行クレーン1基でのスタートだったが現在は豊田通商代行店として名古屋市内での最有力業者となっている。

工場敷地面積は2、805㎡。主な加工処理設備は800㌧シャー（富士車輌）1基、150馬力油圧式プレス機1基、タワーローダー（南星機械）1基、4・8㌧天井走行クレーン（カシハラ鉄構他）4基、60㌧トラックスケール1基など。

同社は岡田社長就任（平成19年1月）の後、ここ2年ほどで外見リフレッシュや防音対策、土間関係の鉄筋コンクリート化整備を行い昨年末に完了。環境に配慮した都市型ヤードとして生まれ変わった。また、今年に入り工場東側（裏）の敷地716㎡を取得。当面の間は、駐車場として活用していく予定だが、緑化推進のため日本庭園を造ることも計画している。新断、ダライ粉類など工場加工スクラップの取扱量も多く、4基ある天井走行クレーンを有効活用して効果的に荷捌きを行っている。

工業地域にある不二商事の都市型ヤード

キリンがシンボル!!カニエ金属

一面海に囲まれた土地で柳が茂り、多くの蟹が生息していたことからその名がついた海部郡蟹江町。ここ蟹江町に工場を構えるカニエ金属は昭和55年7月に開設。愛知県の西部地区を南北に走る産業道路・西尾張中央道に面し東名阪蟹江I・Cから400mのところにある。南部には臨海工業地帯が広がり共英製鋼・名古屋、名古屋港弥富埠頭などがある。

工場敷地面積は3、714㎡。ここに3階建ての本社事務所のほか、800㌧シャー（富士車輌）1基、グラップル付定置式スクラップローダー（南星）1基、リフマグ・フォーク付重機3基（日立建機他）、フォークリフト2台、50㌧トラックスケール1基などの加工処理設備がある。

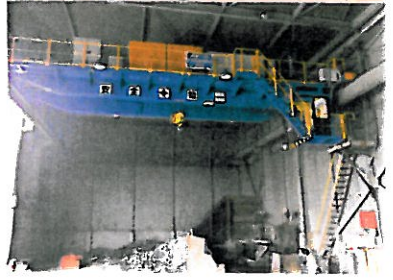
平成13年に就任した西村暢之社長は、2年後の平成15年擁壁を増設し、防音対策を強化。その後擁壁の高さを10mへ立て直し、一層の環境対策を推進。それに伴い本社事務所を3階建てに新築。昨年9月に外壁の塗装を終え一連のリフレッシュ工事は区切りを迎えた。

いまや同社のシンボルともなった、「働くキリン（スクラップローダー）」と「運ぶキリン（運搬車）」もこの間に誕生。地域の小中学生の工場見学などを積極的に受け入れ、このキリンたちはお客さまだけでなく小さな子供たちの人気者にもなった。

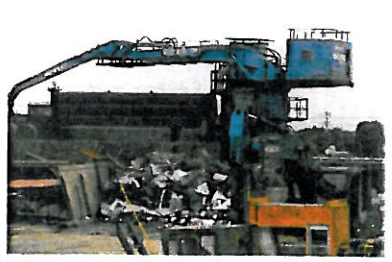
市街化が進む地域にある工場だけに地域との融和を大切にヤード業への理解促進とイメージアップを図っている。地場の集荷業者からの持ち込みが多いのも特徴で、その結果全扱い量の7割をヘビースクラップが占める。地域のお客様を中心として築き上げた信頼関係を大切にしている。

富士車輌の1600トンギロチンシャー

日立建機の特注機「ZX330LC」



カシハラ鉄構の高速天井クレーン



南星機械の定置式スクラップローダー

お客様に、そして地域に必要とされる企業を目指して

岡田グループ全体での取扱量は約2万㌧／月。中部地区では名実ともにトップクラスである。従業員数は岡田金属20名、不二商事20名、カニエ金属10名。主な納入先は大同特殊鋼、愛知製鋼、共英製鋼、中部鋼鈑、トピー工業、新日本製鐵。窓口商社は、大同興業、豊田通商、阪和興業、三井物産メタルズ、メタルワン建材、丸紅テツゲン、ナベショー、岡谷鋼機など。

グループ2社の社長を務め岡田グループを牽引する岡田社長は、誠実な人柄と明るさで人望も厚く、社内外でその評判は非常に高い。昨年の日本鉄リサイクル工業会の全国大会でも大会実行委員長の大役を果たすなど業界を担う若きリーダーである。

「ナンバーワンよりオンリーワンでありたい」という思いから、各工場の特徴をより活かすためそれぞれの工場で担当する品種を決め、都市型ヤードである不二商事では工場加工王の集荷に力点を置き、広大な敷地の岡田金属では大型解体物件などヘビー材のウエイトをより高めるといったように、担当する品種の取り扱いは担当となった工場で一手に引き受けていくことでより多くの量をまとめて出荷するといった構想も描いている。

岡田グループでは環境意識の高まりとともに2006年3月に不二商事が、2006年4月には岡田金属が相次いでISO14001を認証取得。鉄リサイクルの名のもとに地域密着・コンプライアンス重視で日々の営業活動に取り組んでいる。

「取引のあるお客さんだけでなく地域住民の方々にも必要とされる企業（岡田社長）」となるべく、町内会や消防署とタイアップして災害や緊急時には物資の供給や工場を避難所として開放する契約も結んでいる。

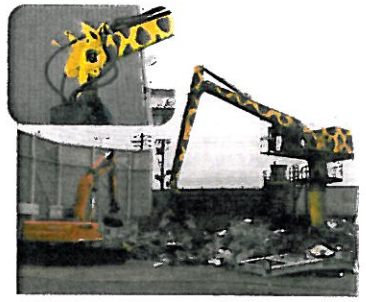
3工場すべてがリフレッシュされ輝きを増した岡田グループ。今後も地域とお客様に愛される岡田グループとして循環型社会の構築と地域社会への貢献に邁進していく。一連のリフレッシュ工事はひとまず完了したが、これからが新しいスタートである。

カニエ金属㈱

沿革	
昭和55年7月	岡田金属株式会社のグループ会社として、資本金1000万円で設立。
昭和55年8月	工場およびギロチン、プレス機、天井クレーン、台貫など設置し営業開始。
昭和55年11月	ギロチン材料投入専用のワンマンローダー設置。
昭和59年4月	省力化を図るためヤードの拡張とリフマグ付重機などを設置。
平成9年7月	リサイクル業としての環境整備開始。本社工場を全面改良。
平成13年4月	西村暢之氏が代表取締役就任。
平成15年8月	擁壁を増設、防音対策を強化。
平成17年12月	擁壁を約10mの高さにかさ上げし、本社事務所を3階建てに新築。
平成20年9月	外壁を塗装しリフレッシュ。

不二商事㈱

沿革	
昭和42年2月	資本金1050万円で不二商事株式会社を設立。名古屋市中川区小塚町32に本社を置く。
昭和46年9月	隣接地1,866㎡を取得し第2工場建設。
昭和48年7月	中川区清川町5－2－3に第3工場が完成。
昭和49年4月	本社を中川区清川町5－2－3に移し、第3工場を本社工場とする。
昭和53年9月	工場の合理化工事開始。プレス機、天井クレーン増設。
昭和57年9月	プレス機、ギロチンシャーをリプレースして6度にわたる工場合理化工事完了。
昭和63年1月	800㌧ギロチンシャー増設。
平成18年3月	ISO14001認証取得。
平成19年1月	代表取締役に岡田健司氏が就任。
平成20年9月	防音対策、土間関係の整備など一連のリフレッシュ工事完了。



高い擁壁とキリンの塗装を施したスクラップローダー・カニエ金属本社工場

人、あつく。
技、たかく。
夢、ひろく。

SANMEI
株式会社 三明電機
代表取締役　渡邉　明
〒463-0068
愛知県名古屋市守山区瀬古3丁目1166番地
TEL 052－792－6391
FAX 052－792－6209
E-mail：a-wata3@juno.ocn.ne.jp

作業環境の改善と
地球環境のために
● クリーンエネルギーで排出ガスゼロ
● 長寿命でしかも低いランニングコスト
● 高視界は広視界　より良い安全作業に
株式会社 南星機械
本社工場 0968(38)1020　大阪営業所 06(6372)7371
東京営業所 03(3504)0831　名古屋営業所 0568(72)4011
他 全国主要都市10店

KASHIHARA
スクラップ荷役のオーソリティー
■ 修理・アフターサービス　迅速対応
■ 豊富な部品在庫
（モーター、ブレーキ、
リフマグケーブル他）
■ 使用頻度に応じた
クレーン設計自由自在
（40%EDから連続定格の
100%ED頻度まで）
■ ダイナミック制御で
巻上ブレーキの負担半減
■ 掴み装置付（親子）で
長尺物ダライ粉の荷役時間激減
■ クレーン能率アップ
改造、設計、計画
大阪労働基準局　製造許可工場
カシハラ鐵構株式会社
クレーン事業部
〒592-8331　大阪府堺市西区築港新町2丁6番32号
TEL（072）243-8777㈹　FAX（072）243-8780
本社　大阪市西区南堀江3丁目14番12号　イイダ第2ビル
TEL（06）6532 0032㈹　FAX（06）6532 0230

Hi-OSS　HITACHI
電化のチカラ。
ハンドリング作業に、この手があります。
電動式なら、環境にやさしく、運転コストも削減！
クリーンな作業環境を実現し、
都市部や屋内でのハンドリング作業などに最適です。
電動式は、とってもクリーンでお得！
● 機械からの排出ガス：排出量ゼロ
● 機械からの騒音発生：5～6dB低減
● ランニングコスト：60～70%削減
※上記の値は、当社のZAXIS200ｺﾌｫｰｸ仕様のエンジン式と電動式の比較例です。
※車体のクラスや作業の条件により、低減率は変わります
※電動式マテリアルハンドリング機の導入、経費比較などは営業担当者へお問い合わせください。
日立建機株式会社
中部支店　名古屋統括営業所
愛知県東海市東海町1-2-1 〒476-0015
TEL (052) 603-1503　FAX (052) 603-9850
URL：http://www.hitachi-kenki.co.jp

スクラップ処理機械
スクラップシャー
フジ・マウントシャー
スクラップベーラー
シュレッディングプラント
http://www.fujicar.com
ISO 9001

スクラップシャー
「圧縮・切断の本格型剪断機」
富士車輌株式会社
東京　TEL(03)5687-1211
大阪　TEL(06)6838-9410
名古屋　TEL(052)621-6900
福岡　TEL(092)622-1758
サービス部
東京　TEL(03)5687-1211
大阪　TEL(06)6838-9411
名古屋　TEL(052)621-9119

人と地球のために
製鋼原料・ギロチン・プレス加工
● ISO14001 認証取得　● 取得許可：産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

カニエ金属株式会社
代表取締役　西村暢之
本社
海部郡蟹江町西之森7－176
TEL 0567(96)0011㈹
FAX 0567(96)3547

不二商事株式会社
代表取締役　岡田健司
本社
名古屋市中川区清川町5－2－3
TEL 052(362)0235㈹
FAX 052(362)0383

岡田金属株式会社
代表取締役　岡田健司
本社
名古屋市緑区大高町字上塩田58
TEL 052(624)2111㈹
FAX 052(622)2311